

普及活動情勢報告（令和3年2月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

J A香美地区フルーツトマト部会が令和3園芸年度現地検討会を開催



2月9日、J A香美地区フルーツトマト部会が、葉かび病の薬剤抵抗性に関する勉強会及び現地検討会を開催し、生産者15名が参加しました。

勉強会では、農業技術センターから殺菌剤の種類による耐性菌の発生リスクとその対策について講演があり、農薬のローテーション散布など防除方法を再確認しました。現地検討会では、8月定植の3ほ場を巡回し、ほ場ごとの灌水量や温度管理の違いと着果数等の生育状況を確認しました。

農業改良普及課は、主茎伸長量等の生育調査結果について情報提供し、今後生産者自らが測定し、作物の状態を把握するとともに栽培管理に活用していくよう呼びかけました。また、生育調査も継続し、生産者の栽培技術向上を支援していきます。

新型コロナウイルス下での栽培支援を模索

～J A、普及所による情報発信～



1月20日、J Aと共同で南国市管内の園芸品目の生産者向けに、栽培情報資料を作成し、配布しました。新型コロナウイルスの影響により、現地への巡回や部会活動の開催が困難であったことから、7品目で、厳寒期や今後の栽培管理(仕立て方法、病害虫対策等)について記載しました。

資料を見た生産者からは、「大事な事がしっかり書かれていて良かった。」「こういった取組があって助かる。」といった声が聞かれました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して、生産者の栽培支援をしていきます。

データ駆動型農業開始



2月16日、IoPクラウドに取り組む農家の4ほ場（ニラ、シシトウ、ピーマン、ナス）で、農業イノベーション推進課担当者からスマートフォンを用いたIoPクラウドの操作について、説明がありました。各ほ場では、生産者と、営農指導員、普及指導員が各自のスマートフォンを用いて操作方法を確認しました。

参加者からは操作がしやすく、画面が見やすいと好評でした。また、5 kmメッシュでの気象状況の把握、警報機能、エネルギー（重油、灯油）管理機能の活用が高まっていました。

農業改良普及課は、今後、関係機関と連携して、データ駆動型農業を推進していきます。

野菜ソムリエに学ぶ 野菜の魅力の伝え方（女性農業者勉強会）



2月3日、シシトウ、ピーマンを生産している女性農業者を主な対象として消費宣伝に役立つ知識を学ぶことを目的に、野菜ソムリエを講師にWEB講演会を開催しました。オンラインの特性を活かし、JA南国営農経済センターにサテライト会場を設けたり、スマホやタブレットで参加されたりと農業者等15名の参加となりました。

参加者は、シシトウ、ピーマンの栄養価や機能性、レシピ、消費宣伝時のポイント等を学び、講演後には、消費宣伝活動のためのレシピづくりや動画作成等に向けた取り組みについて女性農業者で話し合いました。

農業改良普及課は、女性農業者の活躍促進に向け、引き続き活動を支援していきます。

物部柚子生産部会せん定講習会



2月20日、JA香美地区物部柚子生産部会は2園地でせん定講習会を開催し、部会員45名が参加しました。農業改良普及課は、JAとともにせん定を実演しました。

今年は裏年になる園地が多いので、太枝を整理してメリハリをつけていく樹形改造を意識して指導しました。また、新規栽培者にはせん定の進め方や、切った後に想定される樹の反応等について説明しました。参加者からは、「せん定程度の感覚がつかめ、来てよかった。」との声が聞かれました。

今後は、新規栽培者等を中心に個別巡回でフォローし、発芽・開花時期に向け良いスタートを迎えられるよう支援をしていきます。

シシトウで3戸が新規就農しました！



農業改良普及課では産地の持続的な維持・発展に向けて、新規就農者の育成に取り組んでいます。

令和3園芸年度に農業担い手育成センターと指導農業士のもとで研修を受けたシシトウの新規就農者3名が就農し、農業改良普及課は定期的に巡回指導を行っています。

新規就農者からは「山谷はあまりなくコンスタントに取れている。」「将来的には規模拡大を目指して頑張りたい。」といった意見や、病害防除に関する質問などがありました。

農業改良普及課では、新規就農者の早期経営安定を目指して今後も支援していきます。